

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和4年3月31日

事業所名:児童発達支援・放課後児童デイサービス トム&トム

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内訳又は活動目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%		10人定員の基準を満たしています。
	2 職員の配置数は適切である	100%	0%		配置基準を満たしています。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	100%	0%		事業所はバリアフリー化しており、特に多言語で構造化された情報伝達を行っています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%		事業所内は清潔に整理整頓して、活動にあわせた空間作りを行っています。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加している	100%	0%		PDCAサイクルに職員全員が参加して業務改善を行っています。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向を把握し、業務改善につなげている	100%	0%		評価表アンケート調査の結果により保護者等の意向を業務改善に繋げている。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による改善の計画及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%		弊社ホームページ等で公開しています。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0%	100%		第三者による外部評価は行っていないが、今後は取り組んで業務改善に繋げて参ります。
	9 職員の資力の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%		オンライン研修や参加型研修を行い、職員のスキル向上に努めています。
	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%	0%		アセスメントを行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで児童発達支援計画を作成しています。
	11 子どもへの対応行動の状況を踏まえて、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%		標準化されたアセスメントツールを使用しています。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき内容」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目を選び取り、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%	0%		児童発達支援計画ではガイドラインに示された支援に必要な項目を選択し、具体的な支援内容を設定しています。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%		児童発達支援計画に沿った支援を行っています。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%		活動プログラムを職員全員が参画しています。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%		月間・週間の手立てを立てて、集団活動に切り替えています。
適切な支援の提供	16 子ども状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	100%	0%		児童発達支援計画では個別と集団活動を組み合わせて作成しています。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%		毎日朝礼時に職員で支援内容や役割分担を確認しています。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有している	100%	0%		毎日職員全員で終礼を行い、支援の振り返りや利用者さんに関しての気づきなどを確認しています。
	19 日々の支援に関して記録をとるとを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%		毎日利用者のサービス提供記録をとるとを徹底し、支援の検証・改善につなげられています。
	20 定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%		半年に一度、面談によるモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しを実施しています。
	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%		管理者または職員が出席しています。
	22 母子保護や子ども子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	100%	0%		関係機関と連携した支援をおこなっています。
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等)を支援している場合、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	100%	0%		関連機関の助言を頂いたり、オンライン研修に参加し連携した支援を行っています。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等)を支援している場合、子どもの主治医や協力医療機関等と連携体制を整えている	100%	0%		緊急時に備えて主治医との連携体制を整えています。
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校の幼稚園部への参入や、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%		家族様の了解を得て、各関係施設への参入や移行について、事前にお話し合いで支援内容等の情報共有と相互理解を図っています。
26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%		家族様の了解を得て、学校等との情報共有と相互理解を図っています。	
関係機関や保護者との連携	27 地域の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%	0%		専門機関と連携し、オンライン研修に出席して助言を頂いています。
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0%	100%		2021年度に関しては感染症防止の観点により、外部折衝を行っておりません。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加している	0%	100%		2021年度に関しては感染症防止の観点により、外部折衝を行っておりません。
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%		利用時には保護者には連絡帳記入や進捗時に様子を伝え、保護者を安心させる情報を行っています。
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	0%	100%		今後ペアレン等の支援を行うように努力します。
	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%		初回面接・契約時に説明しています。
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援の内容」及び支援内容、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%	0%		児童発達支援ガイドラインに基づいて作成した児童発達支援計画の支援内容を説明して、保護者様からの同意を頂いています。
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%		定期的または随時相談を受け付け、助言・支援をおこなっています。
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開く等により、保護者同士の連携を支援している	0%	100%		2021年度に関しては、感染症防止の観点により実施しておりません。
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%		随時、利用者・保護者からの相談を受け付け、適切に対応しています。
37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%		月1回事業所の連絡を発行し、活動・常時・連絡体制の情報を発信しています。	
38 個人情報の取扱いに十分注意している	100%	0%		同意書を書き、遵守しています。	
保護者への説明責任	39 障害のある子どもや保護者の意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%		コミュニケーションにおいては筆談・メール・電話・電話など様々な方法を個別に配慮しています。
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わった事業運営を図っている	0%	100%		2021年度は感染症防止の観点により、外部折衝を行っておりません。
	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	100%	0%		様々なマニュアルを職員や保護者に説明しています。月1回、避難訓練を行っています。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%		月1回の避難訓練を行っています。
	43 事故に、賠償や予防接種、てんかん発作等のことなどの状況を確認している	100%	0%		賠償・てんかんの状況を確認しています。予防接種は今後確認していきます。
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づき対応がされている	100%	0%		保護者を選択して行っています。
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%		ヒヤリハット事例集は作成し、事業所内で事例集として共有しています。
非常時等の対応	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%		虐待研修に職員は出席し、内部研修をおこなっています。
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し、同意を得るよう、児童発達支援計画に記載している	100%	0%		やむを得ず身体拘束をする場合に関しては、初回面接時に説明と同意を得たうえで、児童発達支援計画に記載しています。

〇〇の「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。